



CONTENTS

- 年頭の辞…p.1
- 新春特別企画「平成 28 年 建材商社業界 予測」…p.2-3
- JK 情報センター「平成 27 年度第 4 四半期 (1 月～3 月) 見通し」…p.4
- お知らせ JK サポートセンター ①中小工務店様向け「省エネ基準講習会」を各地で開催！ ②NEW "リフォーム版" 住宅設備メンテナンス保証の取り扱い開始！…p.5
- 商品情報
- Bulls 情報：イチ押し Bulls
- HDJ & HDP
- 地域活性隊
- 合板天気図

◆ 昨年を振り返って

平成 27 年度を振り返りますに、一昨年の消費増税の反動減も和らぎ、年度初めから好調な滑り出しが期待されましたが、実際には 4.5 月は前年実績も割り込むという厳しいスタートとなりました。しかしながらその後は環境も徐々に好転し、暦年ベースでの新設着工数は一昨年を上回る 90 万戸を突破する見通しとなりました。

これは、日本経済全体として、大手をはじめとする企業の業績が軒並み好調であったことに加え、住宅取得の環境として、金利が引き続き低水準で推移したことや、各種税制面等の大幅優遇が継続して実施されていることが大きな要因であったと考えます。しかしながら、一方ではそれ程の景況感を実感できなかった面もあったのではないのでしょうか。

全体を俯瞰すると、地域によってその温度差が色濃く出たのと、建売系大手ビルダー等への納材が例年よりも遅れている点も目立ったように感じます。

◆ 今年を占う

昨年からのこの回復トレンドは今後も継続するであろうことに加え、来年 4 月の増税の影響を加味すると、今年の新設着工数は前年比を上回るのほぼ間違いないという見方が一般的のようです。但し、その駆け込み需要は 2013 年度に経験した時程の盛り上がりにはならないという見解も一方であります。それはやはり、全体的な住宅供給量が飽和していることや、2030 年に向かって着工数が 60 万戸を割り込むという、人口・世帯数データに基づく予測が根拠となっています。

斯様な環境下で、私たち建材流通事業者は今後どのような方向に舵を切っていかなければな



ジャパン建材株式会社
代表取締役社長 小川 明範

明けましておめでとうございます。
旧年中は格別のお引き立てを賜りまして誠にありがとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

らないのでしょうか。実はそのヒントはとても身近にあるような気がします。例えば、同じ住宅を販売するのでも、国が推進している各種優遇措置等を余すところなく活用したり、ユーザーの様々なニーズにきめ細かく対応されている業者は、やはり元気がありますし、棟数も堅調です。これはリフォーム分野にも同じことが言える気がします。また、最近特に勢いを感じるのは、

非住宅分野における取り組みです。構造・内装の木質化は商業施設や文教施設、または老健施設など多方面にわたって採用が増加しています。こちら提案次第では、まだまだ伸びしろがあるのではないのでしょうか。

いずれにせよ、今の経済環境は、かつての長いデフレ時代の「不況」ではありません。常に情報を収集し、市場のニーズをしっかりと把握できれば、そこには色々なヒントが隠されているのではないのでしょうか。今年はそんな「宝探し」に、お取引先様と一緒に取り組んでいけたらと考えております。

◆ 夢と目標をもつ

あるアナリストがおっしゃっていましたが、日本経済を良くするのも悪くするのも、国民の気持ち次第だそうです。確かに、何もせずに「大変だ、大変だ」と環境を悲観する前に、自分自身が未来に対して前向きに夢や目標を描き、積極的に変化する勇気を持ち、それに向かってコツコツ実行していくことができれば、必ず道は拓けるのではないのでしょうか。

私たちジャパン建材は、今年一年、また新たな思いで様々な取り組みに果敢にチャレンジしていく所存です。つきましては、これからも皆様にとって共に歩んでいくべき「良きパートナー」を目指して精進して参りますので、本年も旧年に倍するお引き立て並びにご指導・ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

平成 28 年 3 月 18 日 (金)・19 日 (土)
第 35 回 ジャパン建材フェア

(通算 77 回)

テーマ「永く住まう」

東京ビッグサイト東展示棟 1・2・3 ホールで開催！
多数のご来場を心よりお待ちしております。

2016 新春特別企画 平成28年 建材商社業界予測

第11回新春特別企画は、諸般の事情により座談会が開催できなかったため、各社トップの皆様に質問項目に回答いただいて「平成28年 建材商社業界予測」としてまとめました。

2016年 新設住宅・木造住宅着工・合板供給量予想

	新設住宅着工戸数	木造住宅着工戸数	輸入合板/国内合板
柴田社長	95～97万戸	53～54万戸	310万㎡/310万㎡
福田取締役	94万戸	52万戸	289万㎡/293万㎡
大西社長	92～95万戸	53万戸	295万㎡/300万㎡
田中社長	95万戸	52万戸	270万㎡/290万㎡
鈴木社長	95万戸程度	52万戸程度	280万㎡/280万㎡
植木社長	95～96万戸	52～53万戸	276万㎡/300万㎡
ジャパン建材	94万戸	52万戸	292万㎡/288万㎡

回答者（社名50音順）



伊藤忠建材株式会社
代表取締役社長
柴田 敏晶 様



住友林業株式会社
取締役常務執行役員
福田 晃久 様



双日建材株式会社
代表取締役社長
大西 哲也 様



トーヨーマテリア株式会社
代表取締役社長
田中 元浩 様



丸紅建材株式会社
代表取締役社長
鈴木 直宏 様



三井住商建材株式会社
代表取締役社長
植木 啓之 様



ジャパン建材株式会社
代表取締役社長
小川 明範

平成28年の新設住宅着工戸数と木造住宅着工戸数の予想

【柴田社長】

平成27年度の新設住宅着工戸数は、年初は、一昨年の89万戸より、減少するという予想が大半でしたが、好調で、91万戸～92万戸で着地となりそうです。平成28年暦年の着工数予想は、95万戸～97万戸と予想します。

理由(1)「駆け込み需要」

平成29年4月に消費税が、8%から10%に上がります。消費税の適用は、基本的に住宅完工ベースですので、消費税を8%に抑えるには、年内に着工する必要があります。従って、年後半に駆け込み需要の発生が予想されます。

因みに2年前に消費税が5%から8%に上がった時の着工数は、駆け込み需要によって前年比10%程上がりました。しかし今回は、3年の違いしかありませんので消費税に敏感な方の多くは、前回の消費税の増税前に建てていると思われるので、今回の駆け込み需要は前回の波の半分、実需の5%分くらいにあたる5万戸前後あとだと思います。

理由(2)「実需が堅調」

住宅ローン史上かつてない低金利、消費税再増税のためには平成28年の経済成長率プラス維持を必要とする政府は、景気乗数効果の高い住宅には支援策を出す予想されます。これを考えると、駆け込み需要は別として、ベースとなる実需は堅調であると思われます。従って、平成27年の91万戸～92万戸に駆け込み需要が5%が増え、95万戸～97万戸と予想しました。・木造住宅着工戸数は、51万戸着地と予想しています。住宅着工数を91.5万戸としてみると、木造比率は56%で、平成26年実績とほぼ同じ。平成28年は、95万戸～97万戸を予想しているの、その56%で53万戸～54万戸は、見込めると思います。

【福田取締役】

平成28年の新設住宅着工戸数は、各シクタンクの予測をもとにすると、94万戸と予想されます。平成28年は、平成29年4月からの消費税再増税を控えた駆け込み需要により着工数の増加が予測されます。しかし、8%に引き上げられた時と時期が近接しており、建て替え層を中心とした需要を既に取り込んでいる可能性があることなどから、前回ほどの大きな駆け込み需要は発生しないものと考えます。

・木造住宅着工戸数については、木造比率の直近の実

績をみると、平成26年通期では54.9%、平成27年4月～9月までは54.6%であることから、平成28年も前年並みの55%で52万戸と予想しています。

【大西社長】

平成28年の新築住宅着工数は92万戸～95万戸。杭工事の影響範囲が限定的な場合は95万戸、影響が拡大した場合は92万戸と予想しています。

平成28年度木造住宅着工数は53万戸。消費税再増税の駆け込み需要が予想される。特に竣工までの期間が短い木造住宅を想定しています。また政府の景気対策として低金利が継続され、住宅取得を促すと思われる。

業界全体としては「杭工事問題」が新築マンション着工のブレーキとなる懸念があります。

【田中社長】

新設住宅着工戸数：95万戸
木造住宅着工数：52万戸

【鈴木社長】

消費税がアップするという前提で、新設住宅着工数は95万戸程度、木造住宅着工数は52万戸程度と予想します。

新設住宅着工数と民間住宅投資額は当然ながら過去連動してきたと言えると思いますが、主だった民間シクタンクの直近の予測によれば、民間住宅投資の前年比の伸び率は平均的には平成27年度が2%強、平成28年度は6%弱となっています。平成26年の暦年が89万戸で、暦年と年度での違いはあるものの、前述伸び率を乗じると、平成27年は91万戸、平成28年は96万戸となります。

ここ数年堅調に推移した賃貸住宅の勢いが、さすがに多少は落ちるだろうということ、また、杭問題がマンションの着工に影響を与えるだろうということ等を加味して多少下方修正し95万戸としました。木造住宅比率は平成27年並と予想します。

【植木社長】

新設住宅着工数を暦年ベースで見ますと、平成24年が89.3万戸、平成25年が98.7万戸、平成26年が88万戸と推移しています。平成25年は消費税増税前の駆け込み需要があり、平成26年はその反動で前年対比89%という大きな落ち込みとなりました。平成27年3月以降は前年を上回るペースでの着工数の推移が見られていますので、年間ベースでは恐らく

91万戸～92万戸程度に回復して来るものと思われる。

平成28年の住宅着工戸数は、平成29年4月に消費税の再増税が実施されるとの前提に立てば、その前の駆け込み需要は避けられないものと考えています。ただし、前回の増税時に比較して税率の引き上げ幅が少額であること、また前回の増税からのインターバルが短いことから急増は考え難いと思います。マンションの杭打ち問題の動向も気になるのですが、結論としては前年比約4%増の95万戸～96万戸と予想します。また木造住宅の着工数は52万戸～53万戸と予想します。

【小川社長】

平成27年は9月までで前年比103%と回復し、10-12月の秋需の伸びを考慮して91万戸前後と見ています。

消費増税の駆け込み需要を考慮するうえで、過去の増税時を見ると、8%増税時の平成24年⇒平成25年で10.9%アップ、5%増税時の平成7年⇒平成8年は9.8%アップという伸びを見せました。特に8%増税時10%以上の伸びを見せたことから潜在需要の多くは顕在化したと見ます。今回は増税までの期間も浅く増税幅も小さいことから、駆け込みの山・谷は小さいと予測します。環境としてはアベノミクス効果で失業率減少と雇用状況の改善は続き、住宅ローン金利も1.5%前後で推移しており、当面は堅調に推移すると予測します。また住宅ローン減税や固定資産税・贈与税の軽減施策などの国策も継続の予定であります。よって住宅については戸建・分譲共に小さいながらも駆け込み需要を期待し8%増税時の半分の5%程度の伸びと考え85万戸強、一方、マンションは杭打ちデータ流用の影響で80%程度の9万戸弱として合計94万戸前後と予想します。その内、木造住宅は直近のトレンドである55%と考察し52万戸前後と見ます。

平成28年の業界動向及び合板景気について

【柴田社長】

・業界動向

駆け込み需要による需要増。新築需要はもちろん消費税により敏感なりフォーム需要も新築以上に増加するだろうと思います。

また東京を中心とした野帳場需要も堅調。更には新三本の矢により介護施設、保育園等の需要も出てくると予想され、特にお盆以降は盛り上がる需要に沸く展開

を予測しています。その時期には一部商品の欠品などの供給不足問題、トラックが取れない等の配送問題、職人不足による施工問題。この3つの問題の解決策が必要となってくると考えられます。

・合板景気

需要の盛り上がりから春以降、堅調な状況が続き益明けから価格も上がってくる可能性が高くなるのではないかと。しかしながら関係者は過去の反省から急騰、急落するような形ではなく、上がるにしても穏やかな上げ、下がるにしても穏やかな下げという展開になるのではないかと予測しています。需要者側の対応の基本は相場を張るようなことはなるべく避け、必要な数量を必要な量だけ、但しやや早めに買って置く程度の対応をすることが全体最適にも繋がり、ベストな対応だと思います。弊社の合板購入に関しても、必要な数量を必要なだけ買い、自己リスクの過剰在庫は絶対持たないように年初から全社に徹底させます。

【福田取締役】

新築住宅向け木材・建材の出荷は、新設住宅着工戸数の増加に連動し、消費税増税を控えた駆け込み需要と反動減が見込まれます。前回、平成26年4月の消費税増税による駆け込み需要を参考にすれば、駆け込み需要は、平成28年4月頃から、建築工程に合わせて、基礎、プレカット、サッシ、サイディング、内装材、設備機器の順番で始まり、その反動減は、平成29年2月頃から始まると思われま。

10月に大筋合意に達した環太平洋経済連携協定(TPP)では、マレーシアの合板やカナダのSPF製材、OSBなどにおいて、16年目までの長期の関税撤廃期間と輸入量が一定量に達した場合に自動的に発効前の関税率に引き上げられるセーフガードが設定されます。

TPPの発効時期は、議会の承認などの国内手続きを踏むため、2年程度掛かる見通しですが、価格面では為替の影響が大きいと、合板市場におけるTPPの影響は限定的であると考えます。

リフォーム市場においては、一時的には新築住宅と同様の動きをし、駆け込み需要と反動減があると見えますが、中長期的に見れば、政府の施策やストック性能向上に係わる需要により市場規模は拡大すると予想しています。

賃貸住宅市場においては、平成27年1月の相続税改正の影響で、主に節税対策を目的とした建築需要が底堅く、当面は堅調な推移が見込まれます。

合板景気については、平成28年は、新設住宅着工戸数の増加により合板需要は3%程度増加すると予想しています。

前回、平成26年4月の消費税増税による駆け込み需要を参考にすれば、フロアベースは平成28年6月頃から駆け込み需要が始まり、出荷は10月頃にピークを迎え、その後反動減が始まるものと予想されます。輸入合板は、平成28年8月頃から駆け込み需要が始まり、出荷は10月頃にピークを迎え、その後反動減が始まるものと予想されます。

また構造用合板は、平成28年8月頃から、型枠合板は平成28年10月頃から駆け込み需要が始まり、出荷は平成29年3月末にピークを迎え、その後反動減が始まるものと予想されます。

供給面では、輸入から一部国産化が進み、輸入合板と国内合板の供給数量が拮抗し、国内合板数量が逆転する可能性もあります。

平成27年は、合板輸入量が大幅に減少したにも関わらず、荷動きが低調な状況が続きましたが、平成28年は需給がバランスし、安定したマーケットとなることが期待されます。

価格面については、インドネシアやマレーシアの為替安が継続することを前提条件にすると、現地価格は横ばいから若干の弱含み、コスト競争力の劣るメーカー

の淘汰が進むと予想しています。

国内合板は、輸入合板との価格差を強みに、価格の安定が継続されると見込んでいます。需要の増加以上の生産過多、あるいは輸入過多にならないような、各メーカーや輸入業者の対応がポイントとなります。

【大西社長】

業界全体としては、消費税増税駆込みの影響で平成27年比好調になると予想しています。木材全般においては、国産材の使用比率がさらに高まる傾向が継続。建設業界においては、インバウンダー需要の取込み、空家対策などが課題となる年で、建替やリニューアル事業が伸びると予想しています。

一方、建材商社、メーカーについては、海外市場進出がさらに加速されると思われま。

【田中社長】

消費税増税前の駆け込みにより住宅需要は高まるものの、景気の先行き不透明感・昨今の杭問題からマンション販売への影響が懸念されます。

一方、ホテル・公共施設・商業施設等は、改装も含めて好調に推移するものと思われま。これらの木造化が更に推進されると予想しています。

かつては合板景気のパロメーターであった住宅着工数が、近年、合板出荷数量に結びつかなくなってきたものの、住宅着工数の伸び(平成27年比)が期待されることから、合板の出荷量は増加するとみえています。

ただし、前回(平成23年)ほど消費税増税前の駆け込み需要の勢いはなく、微増が予測されます。輸入品は思惑買いもなくなり、需給バランスの釣り合いがとれた実需ベースでの商いで推移すると思われま。

国産合板は、本年同様に生産調整が維持され、輸入合板同様に実需ベースでの供給になり、価格面では保合相場で推移することが予想されます。

【鈴木社長】

日本経済は、世界情勢、また、アベノミクスの施策がより具体的に示されるか否か、そして、その有効性次第により上下に大きくブレる可能性があると思われま。話をシンプルに、景況感を平成27年と同様とした場合、また、平成29年4月に消費税増税が実施されることを前提に申し上げると、当業界は概して悪くない1年になるのではないかと考えま。

低金利、政府による住宅取得支援策は、平成28年もある程度継続されると思われま。上記を前提とすれば、新設住宅着工戸数の増加はそれなりの確度を持ち、また2020年五輪関連、インバウンド効果による工事も期待され、総需要は底堅いと思われま。

ただし、駆け込み需要の刈り取りに長けた大手プレハブ系、大手分譲系が戸数を伸ばし、地場工務店の仕事さがさほど増えない可能性があり、全体の着工増ほどには業界全体としては潤わないというギャップを生むかもしれません。またここ数年堅調に推移した、言い方を変えれば、ここ数年築浅のストックを積み上げてきた賃貸住宅が、さすがに平成28年後半には若干ペースダウンしてくる可能性は否定できません。

総じて建築資材の動きが堅調に推移する予想に変わりはありませんので、その代表の一つである合板も基本的に実需は堅調に推移するでしょう。供給面も、昨年稼働を始めた2つの新工場を含む国内の潜在的なキャパは需要増加分を満たすことが十分可能ですし、輸入も前述のとおり輸入元は慎重な対応をせざるをえないでしょうから、需給が比較的バランスして推移する1年になると思われま。

【植木社長】

平成28年の世界経済は、新興国の成長鈍化や資源安による資源国の低迷などが続くものの、米国経済主導

で緩やかな回復基調になるものと予想しま。世界経済を牽引する米国経済は、ガソリン安により家計の実質購買力が向上することや、雇用環境の改善により、企業の設備投資や個人の住宅投資は堅調に推移すると思われま。中国経済は不透明感が高まり、投資も鈍化することで景気の減速感が続くと思われ、この影響はASEAN諸国に及ぶであろうと思われま。そのような中で日本経済は政府の「経済再生最優先」の取り組みのもと、企業もこれに呼応して設備投資意欲の向上や賃金の引き上げ努力を続けて行くものと思われま。

また平成29年4月に予定されている消費税増税前の駆け込み需要の発生が予想されること、東京オリンピック・パラリンピックの開催準備に伴う経済効果、訪日外国人の増加による消費収支増などのプラス要素が多く、昨年よりも景気の回復を実感出来る年になると考えま。住宅産業界もマンションにおける杭打ち問題の動向が気になるものの、政府による住宅取得促進政策の継続や低金利などを背景に、先程申し上げた消費税増税前の駆け込み需要も相俟って新設住宅着工数は昨年の4%増で推移すると思われま。合板については国産合板が供給面で輸入合板を上回る基調は変わらないと思われま。国産合板は塗装型枠やフロア台板、LVLなどの用途開発が進み、これが結果として構造用合板の需給バランスを引き締めて相場は堅調に推移すると予想しま。我々も国内合板メーカーさんと協働して、更なる需要開拓を進めて行きたいと思われま。

一方、輸入合板は産地のコスト高や円安の影響で価格が高止まりすると思われ、これに伴い国産合板や繊維板に従来の需要が置き換わる傾向が続くのではないかと考えま。輸入合板もその特性を活かす需要の開拓や、ファルカタ、アカシア、ユーカリなどの植林木を利用した環境に訴求するような商品開発が求められると思われま。

【小川社長】

・業界動向

平成28年の業界は、住宅取得に関する各種優遇措置や引き続き低金利、及び一定の駆け込み需要予測を背景に、総じて活況を呈する一年になると考えま。しかし、前回我々が経験した時の盛り上がり程にはならないのではないのでしょうか。それはやはり、全体的な住宅供給量が飽和していることや、2030年に向かって着工数が60万戸を割り込むという、人口・世帯数データに基づく減少予測が根拠となっています。

その様な環境の中で、今後は、国が推進している各種優遇措置等を余すところなく活用し、ユーザーの様々なニーズにきめ細かく対応することができれば、新築もリフォームも堅調に推移することができると考えま。また、非住宅分野における構造・内装の木質化等は現在も増加傾向にあり、今後も伸びしろがある分野と考えま。

・合板景気

国内針葉樹合板は、消費税増税前の需要増で合板工場も忙しくなると思われま。品薄感が強まる時期も年に数回あるかも知れま。

針葉樹塗装型枠・フロア台板の需要も増加傾向を辿り、国内針葉樹合板に占める構造用の割合が減少する年になると考えま。年間通して活況を呈する一年になると考えま。一方、輸入合板は供給面でインドネシア・マレーシアのメーカーが2015年の日本国内需要減少を見て日本向け合板の比率を減少させたり、撤退したりするメーカーも出てくると思われま。需要面では消費税増税前の駆け込みと型枠需要の回復も見込まれることと、各社が過去の反省に立って需要予測に基づいた契約を行うことで、需給バランスのとれた相場環境になると考えま。国内同様に良い一年になると思われま。

平成27年度第4四半期（1月～3月）見通し

●最近の売れ筋商品 (全国)

キッチン	
1位	クリンレディ
2位	ラクエラ
3位	アレスタ

ユニットバス	
1位	サザナ
2位	シンラ
3位	アライズ

フローア	
1位	Nクラレス・Jクラレス
2位	フォレス系
3位	天然銘木

外装材	
1位	親水セラ
2位	モエンエクセラード
3位	モエンサイディングS

造作材	
1位	ハビアベイス
2位	ピノイエ
3位	ベリティス

Bulls	
1位	キッチンパネル
2位	ケイカルブルズボード
3位	養生テープ

工務店様・販売店様による需要予測

平成27年度第4四半期（1月～3月）に向けての需要予測がまとまった。前回・前々回の調査で回復の兆しがみられる予測結果となっていたが、新設住宅着工も前年を上回る形で推移しており、季節調整済年率換算値では90万戸（11月中旬時点）となっている。

7～9月期の実質GDPの速報値において全体成長率は2期連続の△0.2%となったが、項目別における民間住宅は実質1.9%の成長率とプラス値が続いている（1～3月期＝2.0%、4～6月期＝2.4%）。そのような環境の中、注目となった今回の需要予測ではついにプラスポイントへの転換となった。工務店様段階で1.0ポイント、販売店様段階で2.5ポイントとなり、増税直後の平成26年度第1四半期以来約2年振りにプラスのポイントとなった。

エリア別で見ても、積雪地域における北海道・東北・北陸エリアの直前第3四半期からの悪化がみられるが、全エリア前年の減少予測を上回るポイント予測となっている。

各種アンケートでは、補助金制度の利用実績と来年度の予測見解を調査した。ブランド化事業からはじまり実績を重ねてきたグリーン化事業、リフォームの性能向上を図る長期優良住宅化リフォーム推進事業といった継続的に行われている補助政策の回答が多く、次年度も期待値の高さが伺える。また、増税の駆け込み需要が始まりだしているかという調査をしたが、現時点ではまだ感じていない回答が大多数となった。前年を上回る着工推移は8%増税時の反動減の終息を表していると考えられ、これからの増税前の駆け込みに向け補助政策と共に備えておきたい。

また、フラット35の直近3カ月（8～10月）の申請件数では前年同時期の126%と好調に推移しており、その中でもフラット35Sの割合が85.5%と前年より11.8%増えていることにも注視しておきたい。

今回の需要予測にも大きな期待をもって臨みたい。

主要メーカー様による販売予測

主要メーカーによる販売予測は今回も増加予測値の高い結果となっている。合板、木質建材は前回からもさらに増加ポイントが高まり、窯業・断熱、住設機器は低下した。プレカット工場各地の稼働率も向上してきており合板の増加値が反映されている。窯業・断熱系も依然増加ポイントは高く、平成28年のスタートも期待値の高さが伺える。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合板	40.5%	55.7%	3.8%
木質建材	59.1%	34.1%	6.8%
窯業・断熱	66.1%	25.9%	8.0%
住設機器	47.2%	47.2%	5.6%

リフォームの現状

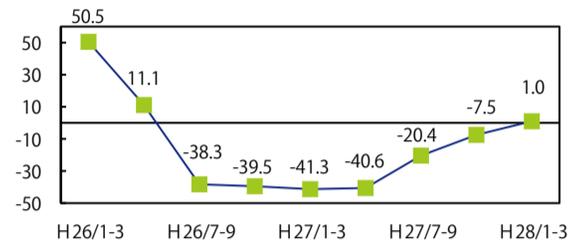
リフォーム事業においても前回より増加ポイントが増える結果となっている。リフォームでの利用も多かった省エネ住宅ポイントも10月21日で受け付けは終了した。住宅リフォーム市場は2014年から微減が続いているが耐震・長期優良化リフォームの促進策も引き続き予算請求されており、市場の拡大を睨み取組んでいきたい。

調査の目的
この調査は、ジャパン建材(株)のお取引先における販売動向及び、景況判断を把握し、今後の適切な販売指針に資することを目的として実施しました。

調査の時期と方法
この調査は平成27年10月下旬から11月中旬までを調査時点として、お取引先3000社に面接調査を行い回収したものを一括集計したものです。
※通商株式会社、株式会社ミトモク、物林株式会社、株式会社銘林にも調査依頼をしております。

●工務店様での景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。



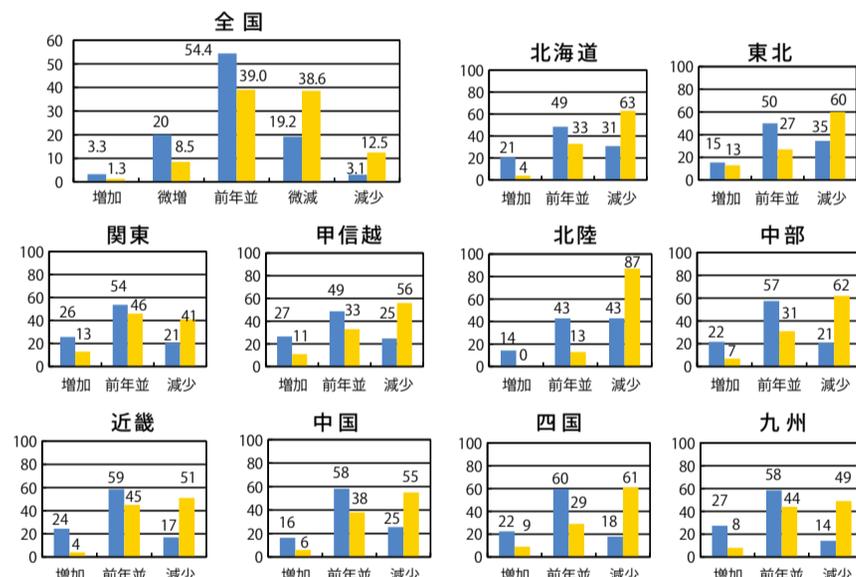
●工務店様での需要予測

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中から選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

全国 回答数 2,721

有効回答数

地域	増加	微増	前年並	微減	減少
北海道	68				
東北	252				
関東	909				
甲信越	230				
北陸	63				
中部	235				
近畿	335				
中国	153				
四国	129				
九州	303				



お知らせ JK Support Center

中小工務店様向け「省エネ基準講習会」を各地で開催！

このたび、弊社主催の「中小工務店向け省エネ基準講習会」を全国47会場にて開催いたします。本講習会については、国土交通省『中小工務店向け講習会及び適合証明サポート支援事業』に基づくもので、2020年（平成32年）省エネ基準完全適合義務化に向けて一役担える内容となつ

ております。皆様方におかれましては、ご多用と存じますが是非この機会にご参加ください。なお、講習会終了後には、省エネ仕様等の個別相談も行う予定です。ご希望の工務店様は、図面等資料の持参をお願いいたします。

当日の講習内容（予定）

【第一部】

省エネ住宅・建築物の整備に関する制度
住宅・建築物の省エネルギー基準等について

【第二部】

各協力メーカー様の仕様提案・事例紹介等 <2社>

講習終了後、ご希望の工務店様には省エネ基準等に適合する仕様提案もさせていただきます。（図面等資料をご持参ください）

※提案無料（1工務店様1回まで）

※計算結果等のご報告には若干の作業期間をいただきます

参加費
無料

講習会開催地について（全47回開催予定）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① 北海道エリア …… 6回 | ② 東北エリア …… 6回 |
| ③ 首都圏エリア …… 10回 | ④ 北関東・信越エリア …… 7回 |
| ⑤ 東海エリア …… 3回 | ⑥ 近畿エリア …… 4回 |
| ⑦ 中四国エリア …… 5回 | ⑧ 九州エリア …… 6回 |

※都合により開催回数が増減となる場合があります。あらかじめご了承ください。

開催日時および会場等、詳細が確定しましたら
随時ご案内申し上げます。

NEW “リフォーム版” 住宅設備メンテナンス保証の取り扱い開始！

皆様から多くのご要望をいただいていた住宅設備メンテナンス保証の“リフォーム版”が、12月1日より取り扱い開始となりました。当サービスは住宅設備を最長10年間保証するとともに、水まわりトラブ

ルの24時間受付&緊急対応がセットされております。その他、別途オプション機器設定もございますので、当サービスへのご質問等がありましたら、お近くの担当営業所またはサポートセンターまでお問合せください。

プラン&保証料（一例）

<料金は税別>

プラン名	対象となる機器および部位		保証期間	
			5年	10年
水まわり 3点プラン	システムキッチン	ガスコンロまたはIHクッキングヒーター、レンジフード、混合水栓（浄水器一体型含む）	25,800円	73,000円
	システムバス	浴室換気乾燥機、混合水栓		
	洗面化粧室	鏡台・化粧台、混合水栓、換気扇		
キッチンプラン	システムキッチン	ガスコンロまたはIHクッキングヒーター、レンジフード、混合水栓（浄水器一体型含む）	15,400円	41,000円
浴室・洗面台 プラン	システムバス	浴室換気乾燥機、混合水栓	17,400円	48,000円
	洗面化粧室	鏡台・化粧台、混合水栓、換気扇		
トイレプラン	温水洗浄便座		10,600円	27,400円
オプション	ガス給湯器・電気温水器		9,800円	24,000円
	エコキュート		10,800円	43,000円
	ビルトイン食器洗い乾燥機（1台）		4,000円	17,000円

さらに
+

水まわりトラブル 24時間受付&緊急対応

水があふれる、止まらない等の水まわりの緊急トラブルに対して駆けつけ・一次対応を行います

標準セット

- 出張料・作業料は無償です。部品代はお客様負担となります。
- 全国対応いたします。（離島および北海道の一部を除く）
- 設備故障が原因の場合は、メンテナンス保証で対応（二次対応）します。
- ガラス、鍵のトラブルにも対応可能です（お客様実費負担）。

サービスのポイント

①新品交換含め全額無料修理！

修理・交換に関わる部品代、作業料、出張費など全て無料です。一時的な立替えも不要です。急な出費が無くなり、お客様の家計の不安を解消します。

②10年間何度でもご利用可能！

一度不具合が起こると、他の不具合を併発することもあります。当サポートなら10年間何度でも修理保証が受けられます。

③窓口一本化でスムーズなトラブル対応！

住宅設備機器の不具合については、お客様コールセンターで承り、メーカー等の手配をいたします。メーカーの保証書・連絡先を探す手間がかかりません。

軽量・高強度素材

プラスチックハニカムパネル! TECCELL® (テクセル)



岐阜プラスチック工業株式会社

TECCELL (テクセル) は

熱可塑性樹脂による連続成形技術から誕生した、「高強度・超軽量・省資源」のハニカムコア材。

ハニカムコア材は、正六角形の集合体で、力学上もとても優れた軽量構造体。

吸音性・断熱性にも優れたハニカムサンドイッチ構造。



【ラインアップ】

(1) PP 製

厚み: 5 ~ 30mm
 カラー: ナチュラル / グレー / ブラック
 サイズ: 910 × 1,820 / 1,250 × 2,500 (mm)

(2) アルミ複合品

厚み: 5 / 10 / 20mm
 サイズ: 1,200 × 2,400 (mm)



【加工性】

(1) 3D 成形加工 (2) 熱線加工 (3) 貼合せ加工



フレキシブルコンテナ - スタンド

【製品】

- TECCELL T5-1300 使用
- サイズ: 830 × 830 × H1,100
 適用フレコンバッグサイズ
 : φ 1,100 × H1,100



【特長】

- フレキシブルコンテナの口を広げ簡単に自立させることが出来る
- 作業効率アップ: 人が持つ必要がない為、安全かつオペレーターの作業性アップ
- 重量: 約 5kg 折り畳み式なので持ち運びに便利



【ご使用場面】

- 土木作業現場
- 建築作業現場
- ペットボトル回収容器
- 工場内のリサイクル材・ゴミ等の回収用



テクセルは「第六回 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞しました。

太陽光は、発電品質へ。 HIT®

保証期間トップクラス*1の新モジュール登場。

パナソニック株式会社

パナソニックの太陽光発電システムは、発電量・長期保証トップクラス*1*2



「HIT」標準タイプ **245α Plus**

モジュール変換効率*5 **19.1%** 公称最大出力*6 **245W**

「HIT」標準タイプ **P250α Plus** (浸注生産品)*7

モジュール変換効率*5 **19.5%** 公称最大出力*6 **250W**



モジュール **25年** 保証(無償)
 機器取組 **15年** 保証(無償)

*写真はイメージです。*太陽電池モジュールは、個々のガラス表面に色のばらつきや汚れが見える場合がありますが、モジュールの出力や品質上の問題はありません。

※1.国内住宅用太陽光発電システム業界、太陽電池モジュール機器保証において、2015年7月23日現在、当社調べ。 ※2.国内の住宅用太陽光発電システム業界において、当社調べ。太陽光発電システム容量1kWあたりの年間推定発電量1,188kWh/kW [大阪市、HIT P250α Plus/245α Plus、パワーコンディショナVBPC255A5:96%(330V時)の場合。]2015年7月現在、一般社団法人 太陽光発電協会基準「年間推定発電量計算式」に基づく。
 ※3.対象モジュール:住宅用太陽電池モジュール HIT P250α Plus、245α Plus/ハーフタイプ P120α Plus、申請手続きが必要です。販売店にご確認ください。 ※4.対象モジュール:HIT P250α Plus、245α Plus/ハーフタイプ P120α Plus、および左記モジュールの周辺機器(パワーコンディショナ、接続箱、標準架台) 機器保証の内容:保証の対象機器に製造上の不具合が発見された場合。(お客様の故意、または過失による場合は、対象外となります。)
 製造上に起因する太陽電池モジュールの割れ等。 ※5.太陽電池モジュールの変換効率(%)は $\frac{\text{モジュール公称最大出力(W)} \times 100}{\text{モジュール面積(m}^2\text{)} \times 1,000\text{W/m}^2}$ の計算式を用いて算出しています。変換効率とは、太陽エネルギーの何%を電気エネルギーとして取り出せるかを表す指標です。 ※6.公称最大出力の数値は、JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値です。 ※7.納期につきましては、販売店にお問い合わせください。

イチ押し



Bulls 壁や天井を汚れにくくする唯一のダイニング照明

Hello! cooking
The Air Clean Technology.

空気を
きれいにする
未来の照明、
クーキレイ。

Deodorant 88%
Smoke 98%
Oil 95%

Bulls
洗面化粧台
b・Carre
ビー・キャレ

使い心地と
美しさを追求した
洗面化粧台

扉カラーとライン取手カラーは
各2色で組合せ自由。
開口：750mm・900mm

扉：シャインブラック
ライン取手：オレンジ

扉：シャインブラック
ライン取手：シルバー

扉：シャインホワイト
ライン取手：オレンジ



Bulls セカンドケアキッチン

自分で料理が出来る喜びをいつまでも。

シンクまわり・キャビネットまわり・足元、
3つの工夫で「座ったまま」を実現。

シンク 開口1200mm用
幅1390mm 高さ1360mm 奥行420mm

シンク 開口1800mm用
幅1890mm 高さ1360mm 奥行425mm

高さ650mm

体にやさしい、ラクにお料理ができるよう
考えられたキッチンです。

戸建住宅の給水・給湯管と排水部材を配管図面とパックで納品します
Bulls 配管キット 給排水ヘッダーシステム



メーカー出荷の安心品質の製品パック

システム配管
給水・給湯ヘッダーシステム + 排水ヘッダーシステム
給湯ヘッダー 排水ヘッダー 給水ヘッダー
基礎貫通箇所削減!

基礎貫通
基礎貫通キット
買渡部の品質向上
（品質法 維持管理等級2以上）

- ★ 長期優良住宅の基準に対応!
- ★ 改正 省エネ法の「小口径配管」に対応!
- ★ 【フラット35】Sの（住宅金融支援機構の）技術基準に適合!

お客様と地元の工務店をつなぐ工務店紹介サイト



地元工務店でこだわりの住宅を建てよう
Supported by 株式会社ハウス・デポ・ジャパン

地元工務店様が実際に建てた
「住むための家」を紹介し、
「家を建てたいお施主様」と
「地元工務店様」をつなぐためのサイトです。
新築の情報はもちろん、リフォームの事例、
見学会などのイベント情報の掲載も可能です。 <http://sumuie.jp>



SUMU家 検索



株式会社 ハウス・デポ・ジャパン
〒136-0082 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー5F
Tel.03-5534-3811 <http://www.housedepot.co.jp>
SUMU家専用 Email: sumuie@housedepot.co.jp



ハウス・デポ・パートナーズは
工務店と家づくりを住宅ローンと各種保険で応援します。

～締め切り迫る!!～
「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」の一環として
実施している【フラット35】Sの金利引下げ幅拡大等につきましては、
平成28年1月29日の申込受付分をもって終了することをお知らせします。

いい家金利プラン 住宅ローン **【フラット35】S**のご案内

平成28年1月29日までのお申込受付分に適用

金利引下げプラン	金利引下げ期間	金利引下げ幅
【フラット35】S (金利Aプラン)	当初 10 年間	【フラット35】S のお借入金利から 年▲0.6%
【フラット35】S (金利Bプラン)	当初 5 年間	

平成27年12月現在

返済期間21～35年
年率1.55%⇒年率**0.95%**
(融資率9割以下の場合)

返済期間21～35年
年率1.68%⇒年率**1.08%**
(融資率9割超の場合)

お問合せ・お申込みは・・・



[三井物産・JKホールディングスグループ企業]
株式会社ハウス・デポ・パートナーズ
フリーダイヤル: 0120-887-800
Mail: hdp@housedepot-p.co.jp
担当: 営業部 伊東、北野、荒谷、田島、伊坂
貸金業登録番号 東京都知事(3)第30759号
日本貸金業協会会員 第005893号

めざせ
地域活性隊
指
ジャパン建材
西日本グループ
中国営業部
島根営業所



所長 藤原 一哉

～神々の集う国島根県～

島根県は中国地方の北部にあり日本海に面し、面積 6,707km²、人口 691,761 人、東は鳥取県、西は山口県に接し、東西の距離 230km と横に長い県です。旧国名は出雲国・石見国・隠岐国であり、現在でも出雲地方、石見地方、隠岐地方と呼ばれています。

島根県は魅力のある観光地が多く、東より隠岐島、松江城、出雲大社、石見銀山、杵本神社と数えきれないほど県内には満載です。

最近ですと島根営業所の所在します松江市にある松江城天守が国宝指定されました。天守が残るお城の 12 か所の内のひとつで、千鳥が羽を広げた様に見えるところから別名「千鳥城」と呼ばれています。近隣には代表作品「怪談」で有名な小泉八雲ことラフカディオハーンの住んでいた「小



松江城



出雲大社

平素はお得意様をはじめ仕入れ先様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

島根営業所は営業 6 名、業務スタッフ 3 名と 10 月より新設しました中国エンジニアリング 3 名の総勢 12 名で活動しております。

東はお隣の県の米子市から西は島根県全域を営業、配送エリアとし日々活動しております。感謝の気持ちを第一に、お客様に信頼されるお役にたてる営業所を目指し所員一同頑張っております。今後共にご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

泉八雲旧居」があります。

出雲市では縁結びの神様として知られる「出雲大社」が人気です。現在 60 年ぶりとなる「平成の大遷宮」が行われており、本殿の修造から様々な奉祝行事・記念行事が行われており、11 月は全国の神々が集まる「神在月」で大勢の観光客で賑わいました。平成 28 年は大遷宮最後の年です。記念の初詣にお越しになってみてはいかがでしょうか？また、キングオブ縁結びといえば出雲大社です。「よいご縁」がおとずれるかもしれません！

西部に足を伸ばしますと山口との県境にあります益田市には万葉歌人の一人柿本人麻呂が生まれ育ったとされる戸田地区に「戸田柿本神社」、高津町には「高津柿本神社」があります。戸田には 7 体の木像が安置されています。また高津には天皇の和歌がたくさん奉納されており、9 月 1 日の八朔祭には おおぜいの人でにぎわいます。「清流高津川」、山陰の小京都「津和野」と、旅の魅力満載の地域です。

近くにお越しの際はぜひ山陰の味覚もお楽しみ下さい。日本海に面しており漁業が盛んで、漁獲量は中四国一を誇ります。この時期は特に隠岐の島で獲れる松葉がに（ズワイガニ）が旬です。一級品は網元の名前入りタグを付けて築地へ出荷され高値で取引され、刺身、焼き、ポイルなど絶品です。宍道湖のしじみ、島根和牛などほかにもたくさんのお土産があります。

いい食材といい気候に恵まれ、なんと「美肌県グランプリ」では 4 連覇を達成しています！島根に住むと美肌になれるかもしれません！



ジャパン建材 合板部
部長 畑野 昌俊

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

新設住宅着工数

2015 年の新設住宅着工数は 91 万戸前後と思われます。大方の予想着工数が 85 ～ 90 万戸であったので、年初予想より良い方向へ向いた年であったと思われます。

2016 年の新設住宅着工数は本紙面で各商社社長様が予想していますが、92 ～ 97 万戸と消費増税前の需要増加を織り込み、好調な一年になるとの予想となっておりますので、合板業界も好調な一年になると考えます。

国内合板

国内針葉樹合板は 2015 年年間を通して生産量は前年を下回るものの、出荷量は 6 月減産表明以降、着工数の増加という後押しもあって、前年を 5% 程度上回る出荷量になると見込まれます。特に 7 月の出荷量は 25 万 m³ を超え過去最高の出荷実績を記録しました。年末にかけてはメーカー在庫量の減少と需要増加が重なって納期遅延が多発することになりました。

今年消費増税増税前の需要増加で年間を通して好調に推移すると思われます。また針葉樹塗装型合板や針葉樹フロア台板の需要の増加も見込まれ、国内メーカーはフル稼働の一年になると思われます。

流通側もある程度多めの在庫を持つなどの対応が必要になると考えます。

輸入合板

2015 年入荷量は前年の 85% 前後まで絞られたにも関わらず、相場環境は一年通して盛り上がり欠けた年となりました。主産地の違法伐採規制強化による原木事情に対する懸念などありますが、国内需要が低迷したことが一番の要因と考えます。今年国内合板同様に増税前である程度の需要増加は見込まれ、輸入元が需要予測に基づいた入荷を行うことで需給バランスのとれた相場状況になると考えます。

国内合板・輸入合板共に消費増税増税前の需要増の影響を受け、今年の合板天気は晴れが続くと思われます。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8：30 ～ 17：20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 JK 情報センター

〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711 (代) FAX:03-5534-3855 (代)
URL:http://www.jkenzai.co.jp